



浄恩寺 雅楽葬 検索

浄恩寺同朋会報

電話 052-881-8474

無量寿

旧年中は拙寺をお支えいただき誠にありがとうございました。本年もよろしく願いいたします。

浄恩寺新築工事より十八年目を迎えた昨年、色々各所で交換や増設の工事が必要となり、左記の内容の工事、備品購入メディア開設を完了いたしました。

- ① 本堂内照明器具をLED照明器具に変更。
- ② 納骨堂内の納骨棚を二台増設。
- ③ 防犯カメラとモニターの設置
- ④ 火災報知器の設置
- ⑤ 高解像度インターホンの設置
- ⑥ 須弥陀盛飾りの新調
- ⑦ 浄恩寺ホームページの開設



① 勤行本が見やすくなりました。眩しいぐらいいです。
② 色々な方から納骨の問い合わせをいただきました。



③ 本堂内外、防犯カメラを4台設置、二十四時間録画します。
④ 本堂と庫裡全体に設置して、有事には連動して警報がなります。
⑤ 超広角レンズで記録。



「孤独死でなく尊厳死」

昨年十一月から十二月にかけて、「孤独死」を遂げられた方が続きました。お一人は、私がお参りに行った時に異変に気づきました。いつも、門が開けてあり、インターホンを押すと同時に玄関を開けてくださる方でした。しかし、その日は応答がなく、雨戸も閉められ、門も閉まっていました。お参りのことを忘れて外出されたかと思い、私も失礼しようと思いましたが、なんだか胸騒ぎがしました。郵便受けには、朝刊2、夕刊1がありました。もしかして、倒れて動けなくなっているのでは？と思い、娘さんに携帯で連絡を取り、安否を確認する方法を試しました。しかし、ちががあかず、了解を得る警察に連絡しました。警察は、消防に連絡するよう指示をしてくれました。すぐに、救急車、消防車、トカーが到着。室内に入るため、レスキューが二階にも、梯子で上がりました。物置内のかんぬきをこじ開け室内に入れました。

しばらく室内を捜索、結果、八十三歳のお母さんのご遺体を発見しました。その直後に、娘さんが到着。「お母さん、亡くなりました」と報告後すぐに現場検証、事情聴取が始まりました。警察官は、私に入室の姿を許可してくれました。安らかに眠って見えました。その姿を見て、私は不思議に安堵しました。苦しむこともなく、眠ったまま旅立たれたと判断しました。苦しむこともその後、警察署で検死。斎場で再会した時は、ピニールに包まれてみえました。枕経を勤めました。

お通夜の直前、刑事さんから電話がありました。「事件性は全くありませんでした。死後三十時間、早く見つけていただけて良かったです。死後三十時間、早く枕元には、御布施が置いてありました。お寺さんを待つてみえただけです。」

この言葉を聞いた時、涙が流れました。「待つてくれたんだ。」と思うと...

お通夜の後、今回のことで感じたことを正直にお話ししました。

「悲しい結果に向き合う事になったけど、お母さんは、一人でも人間らしい生活を送り、自然に旅立たれました。このお母さんの死に責任を感じるかも知れませんが、これは尊厳死であり、理想の旅立ちではありませんか。悔やむことはありません。お母さんと共に生き、受け支えを思い返しながら送りましょう。」

通夜の空気が変わるのを私は感じました。

